

拠出金名：みなみまぐろ保存委員会拠出金

国際機関等名	みなみまぐろ保存委員会 (英文名称・略称) Commission for the Conservation of Southern Bluefin Tuna (CCSBT)					
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他		
所轄官庁担当局課名	農林水産省水産庁国際課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単位	金額				拠出率(%) (注1)	ODA率(%)
	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千豪ドル)	レート		
平成17年度	18,526		232	1A\$ = 80円	(2005年) 41	100
平成16年度	17,600		232	1A\$ = 76円	(2004年) 43	100
平成15年度	15,516		232	1A\$ = 67円	(2003年) 46	100
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2005年度決算)(注2)		
	国名	金額(千豪ドル)	率(%)	当該年度の収入 674,000ドル		
1位	日本	232	41	当該年度の支出 697,750ドル		
2位	オーストラリア	183	32	次年度への繰越 -23,750ドル		
3位	韓国	58	10	会計検査機関名		
4位	台湾	58	10	Australian National Audit Office		
5位	ニュージーランド	40	7	(現在の構成員の出身国：豪州)		
上記の率及び順位は2005年のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
CCSBTはミナミマグロの保存管理及び最適利用を目的として設置された国際機関である。最近、当該水域においては資源の悪化が懸念されており、効果的な管理措置の導入が不可欠となっていることからCCSBTの果たすべき役割は重要となりつつあると評価。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
CCSBTでは拘束力を有する保存管理措置を導入しており、我が国としても、科学的根拠に基づく措置を支持する立場にある。このため、我が国を含む加盟国等が等が拠出金を提供し、科学調査を実施することにより、機能強化が図られている。						
邦人職員数	1人	当該機関の職員数及び		5人		
うち幹部以上	うち 1人	邦人職員が職員全体に		20%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職員氏名		備考		
事務局次長		宮沢軌一郎				
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
未定						

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2003年～2005年)。

(注2) 我が国からの拠出金のほか、他国からの拠出金も含まれる。